

新型コロナウイルスに対応した「令和3年度大学入学者選抜試験」の実施に向けて

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い政府より一斉臨時休校や緊急事態宣言等の措置が行われましたが、一方で、大学のみならず、小・中・高等学校における教育は大きな影響を受けることとなりました。各教育現場では遠隔授業や家庭学習の支援等による懸命の努力が続けられておりますが、地域によっては授業再開後においても分散登校を余儀なくされる学校もあり、特に今年度大学受験を迎える高校3年生の学業の遅れに対する懸念や不安の声があげられております。
- こうした状況を踏まえ、文部科学省が去る6月19日に通知した「大学入学者選抜実施要項」においては、令和3年度の大学入学者選抜について、総合型選抜の出願受付の後倒しや、大学入学共通テストに第2日程を設置する等の入試日程の配慮を行うとともに、個別学力検査においても追試験・振替受験の措置と、選択問題の出題等の出題範囲に対する配慮を行うことが各大学に強く要請されることとなりました。
- 私立大学における入学者選抜とは、本来、各私立大学に固有の建学の精神やアドミッションポリシーの下、自主的・自律的に実施されるべきものではありませんが、一方で、この度の未曾有の事態と対峙するなかで、私立大学はこれらの社会から寄せられる声や要請を真摯に受け止め、可能な限り、これに添えていくことが今求められていると考えます。
- 各加盟大学におかれましては、既に令和3年度入学者選抜試験に向けた準備が進められており、大変厳しい状況下にあります。来年度、学生として迎え入れる受験生に対する格別なるご配慮についてご検討いただけますようお願い申し上げます。
- なお、今後の新型コロナウイルスの状況如何では、抜本的な入試日程の見直しや新年度開始時期の後倒しの可能性も排除できません。大学における入学者選抜の重要性に鑑み、十全なる備えが必要です。

令和2年6月26日
日本私立大学協会